

東大和市学校給食計画（案）近隣自治会等説明会 報告

第1回 日時：平成21年8月31日（月）午後7時～8時30分

場所：桜が丘市民センター 集会室

市側出席者：教育長、学校教育部長、給食課長、給食課計画担当主査

参加者：5名

第2回 日時：平成21年9月5日（土）午後7時～8時30分

場所：南街公民館 205学習室（和室）

市側出席者：教育長、学校教育部長、給食課長、給食課計画担当主査

参加者：12名

主な質問・意見 （順不同。 ⇒ は教育委員会回答）

計画（案）の内容について

用地選定・周辺環境

- 今の施設で対応できないか ⇒現在の施設は用途地域関係上、増築も建替えもできず、また面積も現在の学校給食衛生管理基準をクリアする施設・個々食器を保管するスペースを確保できない
- 敷地は3500㎡も必要ないのでは ⇒現在の第一給食センター、第二給食センターを合わせると敷地面積で4500㎡となる
- 都営住宅の跡地に給食センターを建築してはどうなのか ⇒都営住宅跡地は工業地域でないため、給食センター建設はできない。小学校を統廃合した場合の跡地についても同様の理由で建設できない
- 給食センターが周辺地域に与える環境の影響は ⇒残滓処理の臭いについて苦情があったことがある。新しい設備で対応すれば軽減されると思う。他に、食材納入車・配送車の出入りが増える。車の出入り口は、東側・中小企業大学校側に設置したい。歩道も設置したい
- 暫定リサイクル施設の近くに給食センターを建設して、安全性は大丈夫なのか ⇒給食センターは食べ物を作るので法に則り、安全性を最優先する。リサイクル施設も法に基づいた安全性を確保するよう強く申し入れる

経費・財源

- 建設費の予算はどのくらいか？いつ計上するのか？ ⇒小学校分5000食規模の施設の場合15億円、小中学校分8000食規模の場合20億円くらいである。工事費用は平成23～24年度の2カ年に分けて計上する。予算は議会の議決を経ないと使えない

- 財源はあるのか ⇒まだ教育委員会の計画（案）段階であるので、今後調整する。見込みとしては、建設費15億円の場合、国の補助金が1割程度で1.5億円、起債が10億。残りが一般財源からの支出となる

計画の経緯・今後のスケジュール

- 計画が持ち上がった時期は ⇒平成5年市民参加による検討会で小学校は自校方式（各校に調理室を作る方法）、中学校は給食センター方式が示される。その後平成9年財政状況の悪化により凍結され、平成20年度に市長から教育委員会に再検討を依頼された
- 今後、いつ頃どのような段階を経て決定に至るのか ⇒10月1日市議会全員協議会で説明する。平成22年度設計に入りたい。実施設計前に形が見えてきた段階で、市民全体にも説明を行いたい。平成24年稼動のために、平成23～24年度に工事したいと考えている。その前に今年度東大和市学校給食センター運営委員会において議論していただき、答申を出してもらう予定である
- 計画（案）は議会に出したのか ⇒議会における議決は、条例改正や予算についてなど。この案はまだ固まったものではないので正式には出していない。しかし各議員に情報提供はしており、今回の定例会でも質問が出されている

その他

- 新しい給食センターになったら個々食器になるのか ⇒そうしたい
- リサイクルセンターよりは給食センターの方がよい

桜が丘市民広場利用について

- 桜が丘市民広場に給食センターを作ると現在A・Bの2面に分けて使っているうちB面が使えなくなる。⇒給食センターを作るのに必要な土地について、他市の事例を見ると東大和市小学校分相当の5000食規模の場合、4000㎡が必要といわれているが、4000㎡を確保してしまうとスポーツに使う広さがさらに狭まってしまう。サッカーの公式戦に必要な90mを確保し、野球のピッチャーズマウンドも確保するために給食センター用地も狭くして3500㎡とした。
- 東大和はスポーツ施設が貧弱。学校校庭の更なる開放を望む
- 広場利用団体への説明会は行わないのか ⇒体育協会、サッカーには行ったが、近隣住民が先とした。他のスポーツ団体への説明は今後検討する

その他

- いい計画だと思うので、今日出た問題点をクリアする方向で進んで欲しい（拍手あり）
- 自校式・個々食器の三鷹から転居してきて、ランチ皿での給食に親子ともびっくりした。10年位前に給食センターの見学もしたが、当時既に古いなーと感じた。グラウンド使用の人には悪いが、早く新しい給食センターを作ってほしい